

本研究を公表するために掲示する文書の内容

課題名：心臓交感神経イメージングを用いた心不全の予後予測に関する研究

内容：心不全のために心臓交感神経イメージング（¹²³I-MIBG 検査）を施行した患者において、その治療後の経過と予後に関する情報を集約し、重症心事故を予測する研究を行います。研究は全国の多施設で施行され、匿名化された情報が、金沢大学医薬保健研究域医学系・バイオトレーサ診療学に集約されて解析が実施されます。

対象と方法：心不全は虚血や非虚血性の心臓の病気に関連して生じる心機能の障害が背景にあります。心不全の重症度や予後（すなわち将来心臓の病気重症化や死亡に至る危険性）の推定は、心不全の治療の評価や方針決定に重要な影響を与えます。本研究では、この心事故の発生を予測する方法を検討していますが、そのために過去の臨床情報と検査データを調査させていただきます。

この研究の対象は、心不全のために ¹²³I-MIBG を用いた交感神経イメージングを実施した方の中から選択されています。臨床情報として、年齢、性別、心機能、採血結果、治療の方法、心事故の発生の有無などを、診療記録を元に 5 年間見させていただきます。

結果の公表：研究結果は学術研究会や学会誌等に発表されます。この場合も個人情報には完全に匿名化されており、公開されることはありません。

この研究は匿名化された情報をもとに行いますが、その実施の全過程において、個人情報保護に十分な注意を払います。もし、本研究についてお問い合わせがある場合や個人データの利用の有無についてのお問い合わせがある場合は、2024 年 12 月 31 日までに下記にご連絡ください。

掲示文書の問い合わせ先

若林大志、中嶋憲一 金沢大医薬保健研究域医学系核医学科（電話：076-265-2333）